

豊島区夏季陸上競技大会
大会規則および競技者注意事項

1. 本大会は 2018 年度日本陸上競技連盟競技規則、ならびに本大会要項によって行う。
2. プログラムの訂正は、9 時 30 分まで、または競技開始時刻の 2 時間前までに大会本部に申し出ること。
3. 招集方法
 - ① 招集場所は 100m スタート後方のゲート付近に設ける。
 - ② 招集時刻は競技開始時刻を基準として次の通りである。

種 目	招 集 時 刻
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始 30 分前に開始し、20 分前に完了する
棒 高 跳	競技開始 60 分前に開始し、50 分前に完了する
棒高跳を除く フ ィ ー ル ド 競 技	競技開始 40 分前に開始し、30 分前に完了する

- ③ リレーのオーダー用紙は第 1 組の招集完了時刻の 1 時間前までに競技者係（招集所）に提出する。
（オーダー用紙はプログラム巻末にある）
 - ④ 上記の招集時間後は、棄権したものとみなす。
4. 競技方法
- ① トラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順はプログラムに示した上から下（2 列の場合は左の列より）で行う。空いたレーンがあっても原則的につめないで行う。
 - ② リレー競技とフィールド競技に同時に出場する選手は、リレー競技を優先するので、必ずフィールド競技の審判員に連絡して、リレー競技終了後ただちに帰ること。（ラウンド内に戻らないとパス扱いとなる）
 - ③ スタートは英語で行う。不正スタートを行った競技者は失格とする。
 - ④ 走幅跳、砲丸投およびやり投は 3 回の試技の後に、トップ 8 による 3 回の試技を行う。
 - ⑤ セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
 - ⑥ 1000m および 1500m のスタートはオープンレーンで行う。
 - ⑦ リレーのスタート用マークは各チームで用意し、レース終了後必ず自チームではがす。
 - ⑧ リレーのメンバー変更について
どのラウンドにおいてもメンバーのうち少なくとも 2 人は、そのリレーに登録した競技者でなければならないが、その条件を満たせば、同一団体で、他の種目にエントリーしている競技者を出場させることも可能（競技規則第 170 条 10）。複数のリレーチームをエントリーしている団体の場合、他のリレーチームに登録している競技者を出場させることは可能。ただし、1 人が 2 つのチームで出場する事はできない。（例、A チームに登録している競技者は、A チームで出場しなければ B チームで出場できる）
 - ⑨ 競技（練習）で使用する用器具は棒高跳のポールを除き、競技場備え付けのものに限る。
 - ⑩ ハードルは次の規格で行う。
- | 種 目 | ハードルの高さ | ハードル間の距離 |
|---------------|---------|----------|
| 一般・高校男子 110mH | 1.067m | 9.14m |
| 中学共通男子 110mH | 0.914m | 9.14m |
| 一般・高校女子 100mH | 0.838m | 8.50m |
| 中学女子 100mH | 0.762m | 8.00m |
- ⑪ 走高跳・棒高跳の最初のバーの高さは、出場する競技者との協議によりフィールド審判長が決定する。

⑫ 投てき用器具の重量は次の通りとする。

種 目	重 量
一般男子 砲丸投	7.260kg
高校男子 砲丸投	6.000kg
中学男子 砲丸投	5.000kg
一般・高校女子 砲丸投	4.000kg
中学女子 砲丸投	2.721kg

5. ナンバーカード

- ① ナンバーカードを作成する場合は、割り当てられた番号をはっきり大きく書く。胸・背部に確実に付けること。(跳躍競技の競技者は胸または背のどちらかでよい) 配布されたナンバーカードは配布されたままの大きさで使用すること。
- ②トラック競技に参加する競技者は、腰ナンバーを競技者係で受け取り、右腰やや後方に付ける。リレー競技の場合は第4走者のみ付ける。フィニッシュ後ただちに所定の位置に返却すること。
- ③ **本部から配布されたナンバーカードは競技終了後、番号順にそろえて本部へ返却すること。**

6. 記録証 記録証は団体ごとに封筒にまとめて参加全員に配布する。競技終了後に代表者が表彰係まで取りにくること。

7. 表 彰 各種目の総合結果第1位の選手に記念品を授与する。(リレーは4名分) 記録確定後に大会本部まで取りにくること。

8. 競技場使用上の注意

- ① フィールド内の芝は使用禁止となっているので入らないこと。
- ② スタンドおよび建物内はスパイクを履いての通行を禁止する。
- ③ 貴重品や衣類の管理は各自で行い盗難防止につとめること。
- ④ ごみ類は必ず持ち帰ること。競技場内の整備につとめ、帰るときは必ず清掃をすること。
- ⑤ 本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン設置場所には絶対に入らないこと。

9. その他

- (ア) 申込み後の種目の変更は認めない。
- (イ) 場内における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (ウ) 選手の負傷については応急処置のみを主催者で行うが、それ以後の責任は負わない。
- (エ) ゴミの持ち帰りにご協力ください。
- (オ) 競技場の舗装の厚さは9mmである。
- (カ) ほかに不明の点は、大会本部(総務)まで問い合わせること。